江戸町鑑 寛保元年

SJ
1

此書は帝国図書館本を抄せるなり。江戸町奉行石河土佐守政朝ハ元文三年二月二十八日就任し嶋長門守正祥ハ同五年十二月二十八日就任す。二人の町奉行として並立しなりしハ五年十二月二十八日より石河が大目付に転せし延享元年六月十一日に至る

鷗外藏書

SJ
1

東京帝國大學圖書之印

B 23475

0004331534

間なり。原書題目なく只
表紙面に寛保元年の江
戸町絵なりと云へる識ハ
照すべし。

大正四年十月

深立庵

是は寛保元酉年ノ
町鑑之　と表紙裏ニ書
きあれり。

町御奉行
石河土佐守政朝
ときわばしの内

御　原兵左衛門
用　小倉安兵衛
人　尾崎茂右衛門

酉年御月番
二月　四月
六月　八月
十月　十二月

内寄合 六日 十八日 廿七日 御月番町奉行
於宅ニ四ツ時ゟ寄合

壹番組与力

三好助右衛門

町田十右衛門

磯貝藤兵衛

松浦弥次右衛門

田辺佐左衛門

年寄

大芦彦曽右衛門

藤田助太夫

柴田甚太夫

綿貫源左衛門

本物書 大八木亀右衛門

添物書 佐野織右衛門

平松彦太夫

深沢孫右衛門

村田忠太夫

野上幸左衛門
飯沢市郎右衛門
片山伴右衛門
青柳儀右衛門
成尾縫右衛門

清水傳左衛門
村田儀右衛門
藤井七郎兵衛
田中金蔵
中嶋杦右衛門
高木五兵衛

二番組

中山源右衛門
息 伴蔵

後藤三郎兵衛
東條藤助
高橋八右衛門

年寄

森本庄助
関米弥右衛門
辻 紋右衛門
甲斐権左衛門

物書本 伊沢定右衛門

持

一 岡田又市
　 松尾奥八

伊藤儀左衛門
菱田兵助
須川平十郎
佐藤治右衛門
倉橋佐四郎
峰善蔵
山崎長祖八

杉浦儀兵衛
神田武八
原田太次郎
伴東左衛門
吉澤惣五郎
村田忠右衛門

三番組

一色甚五左衛門
　息 平太夫
服部仁左衛門
中島弐兵衛
都筑十左衛門

年寄

吉田伊左衛門
三縄庄兵衛
吉田潮兵衛
服部喜兵衛

物書

本　川瀬析右衛門

添　三井傳次郎

一　松田佐助

鈴木織右衛門

鈴木定八

小野田新蔵

井上加右衛門

山本兵太夫

岡田源兵衛

小様田谷右衛門

鈴木新七

高部治右衛門

豊田彦右衛門

根本源六郎

矢部孫八

成尾庄右衛門

四番組

吉田政右衛門

島安二郎

高山友右衛門

秋山兵蔵

満田作右衛門

加藤九郎兵衛

年寄

持田太郎左衛門
天野藤左衛門
櫻井小十右衛門
花田島利八

本 岡辺武兵衛

物書

添 岩付三右衛門
九月女清右衛門

伊藤伊五郎 高木伊助
中村元右衛門
高木軍兵衛 笹本権右衛門
大山平七 高部平内
服部加太夫 同 利右衛門
飯田伴七 葛岡平四郎
中島段蔵 恩地十郎左衛門

五番組
谷村郷右衛門

息 源次郎
赤星新五郎
息 六右衛門
加藤又左衛門
三村平左衛門
息 喜藤太
松浦安右衛門
一 鈴木荻右衛門
年寄
一 荻原新八

一 能勢平蔵
山田平右衛門
物書
本 岡田久野右衛門
一 澤田宇右衛門
懐
伊野伴兵衛
杉山勘兵衛
衣笠喜右衛門
宗岡金左衛門
米村四郎左衛門
鈴木常八

田中文八　木村喜兵次
上田万助　渥美八五郎
中村金右衛門　長嶋初右衛門
岩崎太右衛門　山元儀助

町御奉行
嶋　長門守正祥
すきやばしの内

御用人
一寺田数右衛門
一餘田　文蔵

一小澤文右衛門

酉年御月番
正月　三月
五月　七月
九月　十一月

内寄合
六日
十八日
廿日
御月番町奉行
御宅にて
四つ時御寄合

壱番組与力

樋口須良左衛門

息垂之進

山崎助左衛門

荻野仁右衛門

中村又蔵

小栗六左衛門

同同心

年寄

布施甚左衛門

小川平兵衛

加藤太左衛門

野村孫兵衛

本物書

本司甚内

物書

永井藤八

漆物書

佐野仙右衛門

小林宅右衛門

小川六郎兵衛

布施幸八

山田惣兵衛

鈴木太左衛門

石沢又兵衛

中野伍兵衛　小川平四郎

大坂藤九郎　小川権九郎

岡本清右衛門　小倉弥十郎　栗田孫三郎

二番組

仁杉幸右衛門

息五郎八

蜂屋新右衛門

息卯五郎

瀧野伝右衛門

佐久間武右衛門

中田与市右衛門

筆算

中田茂八

佐々木作兵衛

濱田九郎右衛門

林与市

物書

本係

中山甚右衛門

平野藤五郎

城井平六

土橋源助
堀口庄左衛門
大里忠左衛門
古谷才八
中田平左衛門
中田安助

恩保平八
大久保喜右衛門
奥村友左衛門
富里権八
平野吉五郎
高木左源兵衛
松本久米右衛門

三番組

稲澤弥一兵衛

多賀又八
由比弥左衛門
栗半左衛門
山本藤市郎

年寄

永谷与右衛門
速水利左衛門
小川久兵衛
中島喜左衛門

右　山田三郎右衛門

添　三縄甚平
　　吉村伴助

物書

高柳川平　箕川甚五郎
秋田要次
小倉藤次郎
永谷益右衛門　高村文治
児玉半蔵　渡辺善助
長崎左蔵　桒原貞七

大久保勘助　長谷川七郎六
　　　　　相原与八

四番組

中村八良右衛門
島紋右衛門
吉田十郎兵衛
三好新助
倉澤小源次

年寄

川口万右衛門
原田辰右衛門
藤田幸助
日向野吉兵衛

物書并添一

速水久治
岡本三右衛門
外岡惣三郎

中山保五郎
長谷川甲八

池田又四郎
橋本新兵衛
相田伝蔵
山崎金兵衛

保田伴内
槙山段右衛門
大竹甚蔵
吉川十五郎
堀口権右衛門

五番組

安藤源次
息 源次右衛門

生田覚太夫
息　唐八
下村弥助
佐野五良太夫
息五郎右衛門

年寄

大川次助
山川直八
横川久右衛門
高岡安右衛門

本　永谷甚右衛門
添　速水治兵衛
　　五十嵐左助

物書

大竹清次郎　佐久間卿助
和田七郎右衛門　平野九八郎
石沢忠兵衛　目黒弥八郎
永沢孫七　植村次右衛門
大内條次
森孫兵衛
海老原元次郎

竹内弥三右衛門
笹岡善右衛門

両年番

谷村郷右衛門
岩崎貞右衛門
関田源兵衛
荻田兵助
野上幸右衛門
葛岡平四郎

仁杉幸右衛門
奥村友右衛門
高村文蔵
大竹清次郎
槙山繁右衛門
中野清五兵衛

本所改役

中山源右衛門
吉川勘五郎
稲沢弥一兵衛

永谷益右衛門

養生所御用

後藤三郎兵衛

藤田助太夫

生田覚太夫

濱田九郎右衛門

中川久兵衛

牢屋見廻

町田十右衛門

多賀又八

町年寄月番

酉年

本町三丁目横

樽屋藤左衛門

正四七十

本町一丁目
奈良屋市右衛門
三六九十二
本町三丁目
喜多村彦右衛門
二九八十二

以下略す
名主附並支配之町々
は一番組より廿八番組まで
至る、
次に
名主當分無之月行事
持之町々、写あり
次に
寺社出来地町方門前地
方角附あり
（完）

野平家ノ用箋の紙數
盡き去卅三ノ冊とし、以下
卌より七十九まで綴る。